

News Release



令和7年11月11日

各報道機関文教担当記者 様

北陸未来共創フォーラム観光分科会 「観光DX推進ワーキンググループ(第3回)」を実施 北陸三県の観光アンケート約7万件を横断整備 ー観光データを統合しオープンソースで一般公開ー

この度、北陸未来共創フォーラム(※)は、2025年11月14日(金)に、観光分科会「第3回観光DX推進ワーキンググループ(WG)」を実施します。

本WGは、北陸三県(富山県・石川県・福井県)における観光DXの取り組みを推進するため、大学・自治体・観光団体・民間企業などの多様な関係者が集い、広域的な視点から課題解決を目指すものです。

今回は、「観光庁への提言」「北陸三県の観光データの横断整備(別紙1)」「能登半島絶景海道におけるインバウンド・サイクルツーリズム」など本WG活動の進捗報告を行います。

ついては、当日の取材・報道をよろしくお願いします。

※北陸未来共創フォーラム：

北陸経済連合会と北陸三県の国立4大学を主幹会員とした、地方創生に向けて、多種多様な北陸のプレーヤーが出会い、交流するための「産学官金プラットフォーム(地域連携プラットフォーム)」。

地方創生を力強く進めるための基盤として、「経済・産業活性化」と「人材育成・地域定着」の2つの未来ビジョンを掲げ、8つの分科会を運営しています。(https://hokuriku-mirai.jp/)

北陸未来共創フォーラム観光分科会「第3回観光DX推進ワーキンググループ」

日時：2025年11月14日(金) 15時から※ 冒頭(約25分間)の取材が可能です

会場：石川県文教会館 202会議室(金沢市尾山町10番5号)

主催：北陸未来共創フォーラム観光分科会(事務局：金沢大学先端観光科学研究所)

議題(一部抜粋)：観光庁への提言内容の確認・承認、北陸三県における観光データ連携活動の進捗報告

取材の際は、社名入りの腕章などを着用し、報道関係者であることを明示してください。

＜問い合わせ先＞

■WG全般

金沢大学融合系事務部総務課 高田美緒

TEL：076-264-5920

Mail：yugosomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

■データ整備に関すること

金沢大学先端観光科学研究所

客員研究員 田中直史

TEL：080-3084-7329

Mail：tanakanaobumi@gmail.com

本リリースは石川県文教記者クラブ、富山大学関係報道機関、福井県教育・スポーツ記者クラブに送信しています。

取材を希望する場合は、本申込書を
11月13日（木）12時までに
金沢大学融合系事務部総務課まで送付願います。

FAX : 076-264-5899

E-Mail : yugosomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

申込日：令和7年 月 日

北陸未来共創フォーラム観光分科会
「観光DX推進ワーキンググループ」

取材申込書

日時：令和7年11月14日（金）15時から

場所：石川県文教会館 202会議室（金沢市尾山町10番5号）

報道機関名： _____

取材記者氏名： _____ 様

連絡先： _____

同行者（カメラマン等）： _____ 名（上記記者除く）

※取材に際しては、社名入り腕章を着用ください。

<取材申込先>

金沢大学融合系事務部総務課 高田

TEL : 076-264-5920

FAX : 076-264-5899

E-Mail : yugosomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学先端観光科学研究所が事務局を務める、北陸未来共創フォーラム観光分科会では、この度、北陸三県（石川県・富山県・福井県）が実施してきた観光アンケート調査約 7 万件を統合し、横断的な分析やアプリケーション開発に活用できるデータ基盤を整備しました。

<取り組みの背景>

北陸地域では、各県が独自に観光動態や満足度調査を行ってきましたが、調査設計やデータ形式が異なるため、地域をまたいだ分析や広域観光政策への活用が難しい状況にありました。北陸未来共創フォーラム観光分科会では、今年度から観光DX推進WGを設置し、地域間のデータ連携と利活用を進めることで、科学的根拠に基づく観光DX（デジタルトランスフォーメーション）を実現することを目的に、三県のデータ統合プロジェクトを推進してきました。

<取り組みの概要>

北陸三県が保有する観光アンケートデータを共通フォーマットに変換し、アンケートの主要項目を標準化することで、地域横断的な比較分析を可能としました。データ変換・整形を自動化するプログラムは金沢大学先端観光科学研究所のスタッフを中心としたチームによって開発され、オープンソースとしてGitHub上で一般公開されています。

GitHub 組織：hokuriku-inbound-kanko

URL：<https://github.com/orgs/hokuriku-inbound-kanko/repositories>

さらに、当該データを基に、一般利用者・研究者・自治体による観光振興等への活用の推進を図るため、可視化用Webアプリケーションも整備しました。本アプリケーションは、石川県データアナリストの羽生田文登氏が主開発を担い、北陸三県の観光連盟等のみなさまとともに、観光DX推進WGの活動の一環として開発したものです。

本データ基盤の整備により、「観光データ分析の高度化」「サービス・アプリ開発の促進」「地域連携の強化」「教育・研究利用の拡大」が期待されます。

<今後の展開>

今後も、データ更新の自動化や多言語対応の可視化システム、AIによる需要予測モデルの開発などを進め、北陸初の観光データ利活用モデルを全国・海外に発信していく予定で、インバウンドを含めた観光の底上げを目指し、北陸エリアのさらなる観光振興のための取り組みを強化していきます。

<参考情報>

- ・対象データ：石川・富山・福井の観光アンケート（来訪目的、満足度、消費額など）
- ・回答数：約 72,000 件
- ・公開形式：CSV 形式／オープンソースプログラム（MIT ライセンス）
- ・想定活用：観光統計分析、アプリ・ダッシュボード開発、AI モデル学習、地域 DX 推進